



かたかご

富士根北中学校学校だより

令和3年12月

(第8号)



「かたかごの心」に生きる子～よりよい社会を創造できる生徒～

「言葉遣いについて」

校長 徳川典宏

日頃から自分の思いや考えを「適切な言葉で表現できていない、苦手だ」と感じている人は多いのではないのでしょうか？

物事だけでなく、気持ちや考え、様々な感情までも相手に伝えることができる「言葉」を使いこなせるのは、私たち人間だけです。

私たちは、その言葉で自分の心を相手に示しています。毎日、何の気なしに使っている言葉には、想像以上に大きな力があります。時には世の中を動かす影響を与えたり、相手の心に訴えかけたり、人間関係をなごませたり、傷ついた心を慰めたりすることもしているのです。

しかし、そのような素晴らしい言葉のはずなのに、「べつに」「ふつう」「びみょう」「やばい」などだけで済ませてしまっていては、いつしか本当に自分の「心」を伝えようとした時に、うまく言葉を使えなくなってしまうのではないのでしょうか。さらに、そのことはコミュニケーションをとることも苦手にしてしまうのではないのでしょうか。そして、ついには、心まで曖昧でいい加減な人間になってしまいかねないのではないのでしょうか。

「言葉」は「心」で生まれて発せられるものです。「読む」「書く」「話す」「聞く」「考える」等の行為すべてに、正しい言葉を使い、「語彙（ごい）」を増やすことは、その人の生き方に関わるほど、大きな影響を及ぼすことになるはずです。

生きていく中で、もともとは自分の中に無かった言葉を学び、使うことで定着すると、そこからまた新しい世界が開けていくのではないのでしょうか。

私たち大人が使う言葉は、子どもたちに大きな影響を与えます。まず、私たち大人から、心が伝わるような「やさしい言葉」「あたたかい言葉」を使いたいものです。そして、ご家庭では、たとえ、それが拙くても、自分の言葉で話そうとする子どもの話をさえぎらずに、しっかり聞いてあげてほしいと思います。人に話をすることによって、一生懸命に聞いてくれる相手がいることによって、その言葉の奥にある心や感情やおもいが満たされ、子どもは自己肯定感を高めていき、心を安定させていくのではないのでしょうか。

私たち大人から、ぜひ、言葉遣いについて見直してみませんか。

☆学校の様子はホームページでもご覧いただけます。よろしくお願ひします。

HPアドレス http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/06fujinekita/index.php?page_id=0

かたかご祭文化の部が開催されました。

先月の体育の部に続き、文化の部が11月4日(木)に開催されました。昨年度はコロナ禍で、中止となったため、2年ぶりの開催となりました。例年より規模を縮小し、午前中だけの開催となりましたが、全校生徒で協力し合って行事を創り上げることができました。

日頃の学びの発表



英語暗誦



自由研究発表



ビブリオバトルチャンプ本紹介

心を一つにして歌い上げた学級合唱



1年生



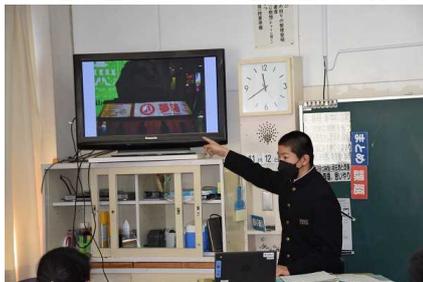
2年生



3年生

「かたかご学習中間発表会」

11/16に、「かたかご学習」中間発表会が行われました。1年生から3年生までが縦割りグループとなり、個人で追究した内容について発表しました。発表を聞いた生徒からの質問を受けてディスカッションしたり、発表の仕方等についてアドバイスし合ったりしました。今後は更に追究を深めていくとともに、自分の発表についての様々なアドバイスをもとに修正し、よりよいものを作り上げていきます。保護者の皆様には1月15日(土)に行われる予定の「かたかご学習発表会」に足をお運びいただき、生徒の学習の成果を見ていただければと思います。



「富士根北小中合同学校保健委員会」

○今年の小中合同学校保健委員会のテーマは「歯と口の健康～めざそう！根北歯みがきマスター」でした。市役所健康増進課の歯科衛生士、芦澤里帆さんをお招きし、小学校・中学校の各教室をリモートでつないで実施しました。各学級でなぜ歯みがきをするのか話し合いをしたり、芦澤さんに正しい歯みがきの方法を教えていただいたりしました。学区の小中学生がこれからの生活に役立ててくれることを期待しています。

